

大正

〔大正2年〕 1913

◎新鶴第二尋常小学校校舍改築

◆東海道本線的全線複線化◆冷夏と台風被害で県内が凶作

〔大正7年〕 1918

◎荒井・佐賀瀬川両図書館を併せて新鶴図書館設立、新鶴第二尋常小学校に置く

◆福島・郡山間の乗合バスが運行開始◆全国的な米騒動、県内でも各地で発生◆大正3年に始まった第一次世界大戦が終わる◆スペイン風邪の大流行で国内の死者約15万人

〔大正8年〕 1919

◎新鶴村に初めて電灯つく

◆自動車取締令公布、一般道路での最高時速24km◆東北線の蒸気機関車からの飛び火が原因で白河で大火発生

〔大正9年〕 1920

◎2月、新鶴第一尋常小学校沼山分校全焼、10月、新築開校

◆第一次大戦後の経済恐慌で株式暴落、生糸も暴落し養蚕農家に不安◆東京・上野公園で初のメーデー◆初の国勢調査で県人口136万2750人

〔大正11年〕 1922

◎2月、新鶴第二尋常小学校仏沢分校全焼、10月、新築開校

◆神戸で日本農組創立大会を開催◆福島市に国立福島高等商業学校が開校

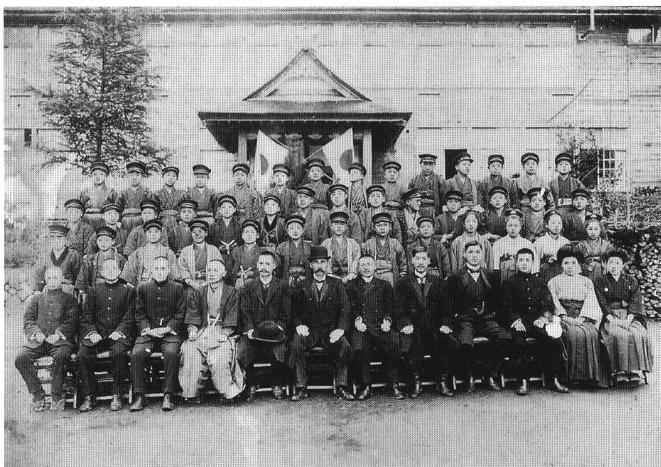
〔大正15年・昭和元年〕 1926

◎会津線が坂下まで開通、10月より新鶴駅開業

◎新鶴村青年訓練所開設

◎大沼郡役所廃止

◆東京・大阪・名古屋の3放送局が合同し日本放送協会(NHK)発足◆若松・坂下間に鉄道(会津線)が開通◆大正天皇崩御、元号が昭和となる



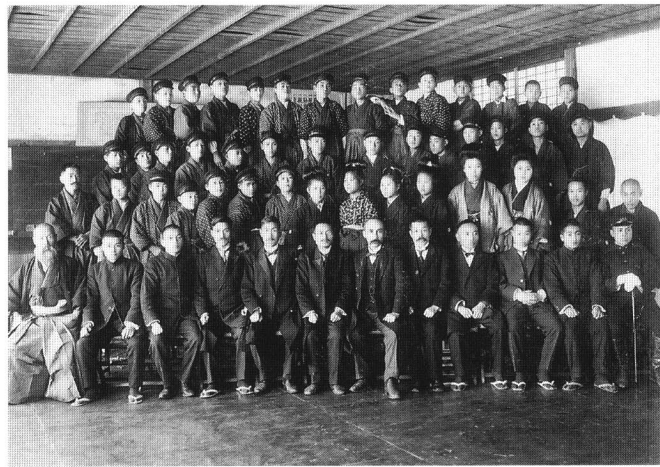
新鶴第二尋常小学校卒業生（大正5年前後／山口佐幸氏提供）



新鶴第二尋常小学校卒業生（大正2年／山口佐幸氏提供）

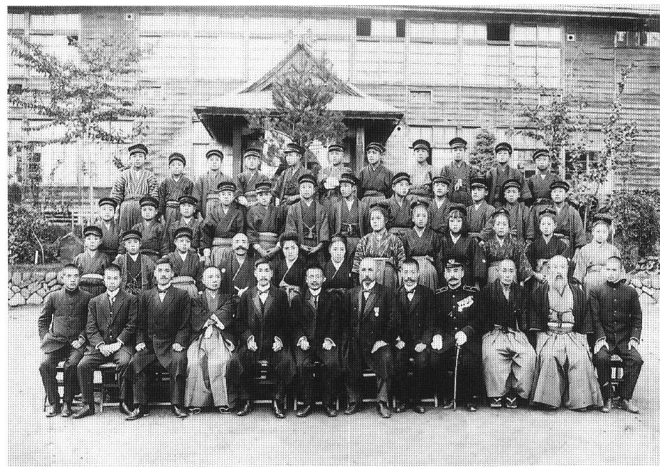


新鶴第二尋常小学校卒業生（大正5年前後／山口佐幸氏提供）



新鶴第二尋常小学校卒業生（大正5年前後／山口佐幸氏提供）

境野北地区の三十三観音講記念
（大正初期／松本哲夫氏提供）



新鶴第二尋常小学校卒業生（大正5年前後／山口佐幸氏提供）

CHRONICLE
1世紀の伝承
明治—大正